
Almaサンドボックス環境

Almaのサンドボックス環境を使用してAlma（またはLeganto）の変更を、また、AlmaとPrimoの両方のVEサンドボックス環境を使用してPrimo VEの変更を安全にテストすることができます。AlmaとPrimo VEのサンドボックスは、変更をユーザーにとって閲覧可能にしたり運用環境でデータを漏らしたりすることなく、開発、試験、およびトレーニングを行う手段を提供します。サンドボックス環境は、運用環境から完全に分離されています。サンドボックスで実行されるアクションは運用環境に影響を与えず、運用環境で実行されるアクションはサンドボックスに影響を与えません。

Primo VEではなくPrimoを使用している場合は、[Alma-Primoのサンドボックス統合](#)を参照してください。

標準のAlmaおよびPrimo VE商品の一部として、Ex Librisは、AlmaおよびPrimo VEの両方について標準サンドボックスを提供します。標準サンドボックスには、Ex Librisが提供する大量のデータ（約70,000レコード）が含まれており、実稼働環境に影響を与えることなく、スタッフのトレーニングとテストのビジネスシナリオ、新しい拡張機能、および他のシステムとの統合に使用できます。Almaサンドボックスの変更は、Primo VEサンドボックス内で確認できます。

[Go Live]の後、Ex LibrisはAlmaプレミアムサンドボックスも提供します（追加の年会費）。このサンドボックスには、AlmaおよびPrimo VE実稼働環境からのデータと設定の完全な複製が含まれています。また、トレーニング、試験、および開発の目的にも使用できます。プレミアムサンドボックスを購入すると、標準のサンドボックスが置き換えられます。

Almaの2019年2月のリリースで、Ex Libris社は新しいプレミアムサンドボックスポリシーを導入していることにご注意ください。新しいポリシーの詳細については、[Ex Librisのプレミアムサンドボックスポリシーのよくある質問](#)を参照してください。

Note

- ほとんどのAlmaのお客様は、Ex Librisから入手可能な標準サンドボックスを標準製品の一部として使用しています。[標準およびプレミアムサンドボックスの違い](#)で以下に説明するように、プレミアムサンドボックスは、特定の場合には関連する場合があります。
- 単一の機関が標準サンドボックスとプレミアムサンドボックスの両方を同時に持つことはできません。また、AlmaとPrimo VEサンドボックスのグレードを混在させることはできません。例えば、Almaプレミアムサンドボックスがある場合、Primo VEプレミアムサンドボックスも必要です。
- サンドボックス環境は、運用環境への一般リリースの2週間前に新しい月間リリースで更新されます（通常、サンドボックス環境は各月の第2日曜日または最後の日曜日に更新される事を意味します。Ex Libris社が後悔しているリリーススケジュールをご覧ください）。
- APACのお客様は、プロダクション専用的高速化されたAlmaドメインを使用する必要があります。サンドボックスは、Almaの高速化ドメインをサポートしていません。

Almaのサンドボックス環境と実装のタイムライン

実装の初期段階で、Ex LibrisはAlma標準サンドボックスへのアクセスを提供します。これは、機関がAlmaトレーニングを受けているときにAlmaを学習し、慣れるために使用します。AlmaとAlmaドメインへのログインの詳細については、[Almaドメイン](#)を参照してください

Almaの実装が進む中で、トレーニング目的でAlma標準サンドボックスを使用し続けます。トレーニング中は、エンドツー

エンドのビジネスプロセスに焦点を当て、プロジェクトチームが製品の機能を確認し、Alma実稼働環境の提供後にデータ移行をテストできるよう準備します。実装フェーズでAlma実稼働環境を受領した後、実装作業の大部分は[Go-Live]までAlma実稼働環境で行われます。ただし、引き続き標準サンドボックスを使用して、必要な統合および認証セットアップの設定を支援し、内部スタッフのトレーニングを実行することは一般的です。[Go-Live]では、Alma実稼働環境に「ライブ」データが含まれている場合でも、サンドボックスは、Alma実稼働環境でこれらの機能を使用する前、Almaリリースごとに継続的なスタッフトレーニングと新機能のテストに特に有用な環境です。

Note

IdP認証システムの認証で1つでもサンドボックスを使用している場合、サンドボックスドメイン/URLがIdPシステムによって認識されることを確認する必要があります。

プレミアムサンドボックスは、標準のサンドボックスに代わるものであり、機関のすべてのデータと設定が含まれていますが、実装時には利用できません。

Almaのサンドボックスリフレッシュリクエスト

Alma標準サンドボックスを使用している機関は、クリーンで標準的なEx Librisトレーニングデータの更新を四半期ごとに1回までリクエストできます。各サンドボックスの更新は自動的に実行されません。明示的にリクエストする必要があります。サンドボックスの更新をリクエストするには、Ex LibrisカスタマーセンターCRMでサポート機関を開き、所属機関の名前とサンドボックスの更新に必要な時間枠を示す必要があります。リクエストと希望する更新日との間に少なくとも30日の通知を提供する必要があります（更新リクエストは将来的な四半期のスケジュールではない場合があります）。Ex Librisは、クラウドオペレーションスケジュールのリクエストと利用可否に基づいて標準のサンドボックスリフレッシュをスケジュールし、CRMサポートケースを通じて最終計画スケジュールを更新します。実際の更新プロセス（施設の規模に応じて通常4〜5日間続きます）の間、サンドボックスは使用できなくなります。完了すると、それに応じてCRMサポートケースが更新されます。

Note

標準サンドボックスの更新では、サンドボックスの設定は保持されません。

プレミアムサンドボックスは、2月と8月の年2回、運用環境のAlmaリリース後の日曜日に、Ex Librisにより自動的にリフレッシュされます。詳細については、[Ex Libris社の新しいプレミアムサンドボックスポリシー：よくある質問](#)を参照してください。

サンドボックスの認証が、追加の設定なしで、あるいは最小限の設定で、各更新後もシームレスに機能するために実行する1回限りのステップについては、[サンドボックスのリフレッシュを考慮した推奨設定](#)を参照してください。

標準およびプレミアムサンドボックス間の違い

次の表に、Alma内の主要領域とタスクにおける標準サンドボックスとプレミアムサンドボックスの違いを示します。

Alma標準およびプレミアムサンドボックス

Alma の領 域	タスク	サポートされているサンドボック スタイプ
トレ ーニ ング	実装中のAlmaトレーニング	標準（[Go Live]の前にプレミアム は利用できません）
	リリース後に新しい機能を試してみてください。[Go Live]に続く継続的なトレーニング	標準とプレミアムの両方
デー タサ ービ ス	ユーザーレコードをロード	<ul style="list-style-type: none"> 標準 – 最大10,000件の追加レコード（標準のサンドボックスデータを超える） プレミアム – 実稼働環境で管理される合計を越える最大50%または100K（いずれか小さい方）の追加のユーザーレコード
	書誌データのインポート（電子書籍、デジタルリソースメタデータ、典拠レコードを含む）	<ul style="list-style-type: none"> 標準 – 最大10万件の追加レコード（標準のサンドボックスデータを超える） プレミアム – 実稼働環境で管理されている書誌レコードの総数を越える最大20%または5万件（いずれか少ない方）の追加レコード
	書誌データをPrimoサンドボックスに公開	<ul style="list-style-type: none"> Primo : <ul style="list-style-type: none"> 標準 – Primoへのレコードの公開は許可されていません プレミアム – 選択したセットごとに最大10,000件のレコード Primo VE : <ul style="list-style-type: none"> 標準 – 標準のAlmaサンドボックスデータの代表例 プレミアム – 生産から複製されたAlmaプレミアムデータの完全な表現 <p>Almaサンドボックス内のレコードの変更は、Primo VEサンドボックス内に表示されることに注意してください。</p>
	分類と見出しの強化	<ul style="list-style-type: none"> 標準 – サポートされていません。

Alma の領 域	タスク	サポートされているサンドボック スタイプ
		<ul style="list-style-type: none"> プレミアムプロダクションからコピーされたデータが充実しています。サンドボックスで作成された新しいデータは強化されません。
	<p>Almaクラウドストレージにデジタルオブジェクトをロードする (Amazon S3)</p> <hr/> <p>Note</p> <p>プレミアムサンドボックスでは、運用環境から更新されたレコードに属するファイルを表示できますが、変更することはできません。</p> <hr/>	<ul style="list-style-type: none"> 標準 – 最大10GBの合計ストレージサイズ プレミアム – 最大50GBの合計ストレージサイズ
	グローバルなデータ変更を実行します	標準とプレミアムの両方
	コミュニティゾーンでレコードを検索し、利用可能な電子レコードを確認し、機関ゾーンでグローバル電子目録を有効化します	標準とプレミアムの両方
フル フィ ルメ ント とコ ース	フルフィルメント設定、ローン、リクエスト、罰金/手数料の割り当て、通知、コースなどのフルフィルメントの変更をテストします	標準とプレミアムの両方 標準は、1,000のリーディングリスト（レガントを含む）に制限されています。
受入	EDIおよびEODのトライアルを実行します	標準とプレミアムの両方
	会計期間終了のトライアルを実行します	標準とプレミアムの両方
	注文書のクレームやキャンセル、資料の返却などの受入ワークフローをテストします	標準とプレミアムの両方
	支払いのリクエストをエクスポートします	標準とプレミアムの両方
シス テム アド ミン	認証設定の変更をテストします	標準とプレミアムの両方
	設定の変更をテストします	標準とプレミアムの両方
API 統合 テスト	<p>Alma API開発のテスト</p> <hr/> <p>Note</p> <p>アナリティクスAPIは、標準サンドボックスでもプレミアムサンドボックスでも使用できません。それらは実稼働環境でのみ使用可能です。</p> <hr/>	標準とプレミアムの両方
デー タと 設定	サンドボックスのデータと設定を更新します。サンドボックス上のすべてのデータと設定を削除し、次の内容に置き換えます。	規定どおりの標準とプレミアムの両方

Alma の領 域	タスク	サポートされているサンドボック スタイプ
の更 新	<ul style="list-style-type: none"> 標準 – Ex Librisが提供する標準のデータと設定 (Ex LibrisカスタマーセンターCRMでサポートケースを開くことで処理されます) プレミアム – 最新の運用データと設定のコピー (生産環境のAlmaリリース後の 日曜日、2月と8月の年2回、自動的に処理されます) <hr/> <p>Note</p> <p>許可された電子メールと許可された S/FTP 構成のリストは、プレミアム サンドボックス (PSB) の更新中に保持されます。</p> <hr/>	
デー タの 匿名 化	<p>受入とユーザーデータの匿名化は次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザーの匿名化： <ul style="list-style-type: none"> ユーザーのプライマリID/ユーザー名、名、ミドルネーム、姓がスクランブルされ、元の文字が特定の文字数に切り捨てられて逆になります。 ユーザーのメールアドレスは固定のプレースホルダメールに設定されています。 ユーザーの電話番号は固定のプレースホルダ電話番号に設定されています。 ユーザーの住所は固定のプレースホルダ住所に設定されます。 ユーザー関連のメモ、識別子、添付ファイル (通知) はすべて削除されます。 リクエスト関連の名前、メールアドレス、添付ファイル (通知) はすべて削除されます。 ユーザー検索索引は、新しく匿名化されたデータで再設定されるため、元の匿名化されたユーザー関連データは検索できません。 ユーザーの履歴は切り捨てられます。 受入の匿名化： <ul style="list-style-type: none"> 受入テーブル (FUND, FUND TX, PO, POL, INVOICE, PURCHASE_REQUESTS, INVOICE_LINE) では、データがクリアされるため、サンドボックスデータは、運用データと一致しません。 <hr/> <p>Note</p> <p>データの匿名化はコンソーシアムでのみ利用可能であり、Almaのスタンドアローンでは利用できません。</p> <hr/> <p>データの匿名化はオプションであり、ユーザーデータまたは受入データ、あるいはその両方 (または、なし。この場合、すべてのデータはそのままサンドボックスにコピーされます) に対してのみ実行できます。所属機関に設定されたデータの匿名化動作を変更できます (Ex LibrisカスタマーセンターCRMでサポートケースを開くことで処理されます)。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>教育機関がユーザーの匿名化を有効にしている場合は、運用でレコードタイプ = "スタッフ" のアカウントを設定する必要があります。これらのアカウントは、PSB にコピーされるときに匿名化されません。その結果、他のすべてのアカウントの識別子はスクランブル化されているため、これらは、更新後に PSB にログインできる唯一のアカウントです。</p> <hr/>	プレミアム

Alma の領 域	タスク	サポートされているサンドボック スタイプ
ロゴ のカ スタ マイ ズ	独自のロゴと配色でサンドボックスをカスタマイズします。サンドボックスを更新すると、サンドボックスで実行されたすべてのカスタマイズがリセットされることに注意してください。	標準とプレミアムの両方

その他の考慮事項

以下は、Almaサンドボックスに関して考慮すべき追加の考慮事項です。

- AlmaプレミアムもAlma標準サンドボックスにもAlmaアナリティクスは含まれていません。Almaアナリティクスは、読み取り専用モードで、指定されたデータウェアハウス上（運用データ上ではなく）で実行されます。実稼働データは影響を受けないため、実稼働環境で使用可能なAlmaアナリティクスを使用して新しいレポートをテストおよび開発しても安全です（サンドボックスは不要です）。
- 標準のサンドボックスを設定すると、本番環境にPrimo Central Indexを共有できるようになります。次に、サンドボックスのPrimoインスタンスでテストすると、同じレコード（書誌、ポートフォリオ、典拠など）をその検索で利用できるようになります。サンドボックスではスケジュールされたジョブが自動的に実行されないため、サンドボックスの索引は標準のレコードのみで開始され、以降のメンテナンスはすべて手動で行う必要があります。
- Alma標準サンドボックスでは、サンドボックスのデータと設定は、サンドボックスが更新されるたびにリセットされます。Almaプレミアムサンドボックスでは、更新の一環として、すべてのデータと設定が運用環境からコピーされます。これらは、サンドボックス上のデータと設定を置き換えます。
- AlmaプレミアムおよびAlma標準サンドボックスは、ログインできる有効/個別ユーザーが30人に制限されています（TEST_1、TEST_2などのサンドボックスログイン用の汎用ユーザーを作成できます）。
- 単一の機関に標準サンドボックス環境とプレミアムサンドボックス環境の両方を含めることはできません。[Go Live]に続いて、これらの2つのオプションから選択する必要があります。
- 内部ユーザーのパスワードは、Almaデータベースではなく、アイデンティティサービスに保存されます（「[開発者ネットワーク](#)」を参照）。ユーザーがAlmaプロダクションでパスワードを変更した後にサンドボックスが更新されると、次のようになります。
 - プレミアムサンドボックスユーザーにAlmaデータベースのパスワードは設定されません（本番環境のAlmaから複製されたため）。
 - また、ユーザーは「サンドボックス」アイデンティティサービスでのパスワードがありません。

そのためログイン時に社内ユーザーとして初めてプレミアムサンドボックスにアクセスする場合は、[パスワードリセットリンク](#)を使用してパスワードをリセットする必要があります。プレミアムサンドボックス内部ユーザーのパスワードが設定されると、サンドボックスの更新によって変更されることはありません。

共同ネットワーク内の複数のサンドボックス

共同ネットワークの場合、Ex Librisは、標準サブスクリプションの一部として、2つのAlmaと2つのPrimo VE標準サンドボックスを提供します。共同ネットワークがネットワークゾーンを実装している場合、Ex Librisは、2つのサンドボックスメンバーにリンクされているネットワークゾーン用の追加のAlmaおよび追加のPrimo VE標準サンドボックスを提供します。プレミアムサンドボックスオプションを取得する共同ネットワークは、取得するプレミアムサンドボックスの数を**選択**で

きます（以下に示すサンドボックスガイドラインに基づく）。通常、ネットワークゾーンを実装する共同ネットワークは、ネットワークゾーンプレミアムサンドボックス（ネットワークゾーンのコピー）と、選択した代表メンバー機関のコピーとして機能するいくつかのプレミアムサンドボックスを購入します。いずれかのメンバー機関がプレミアムサンドボックスの取得を選択した場合、ネットワークゾーンプレミアムサンドボックスも購入する必要があります。共同ネットワーク内で標準サンドボックスとプレミアムサンドボックスを混在させることはできません（すべて標準またはすべてプレミアムである必要があります）。ある機関のメンバーがプレミアムサンドボックスを選択した場合、ネットワークゾーンを含むネットワーク内の他のすべての資格のあるサンドボックスもプレミアムにアップグレードする必要があります。同様に、メンバーサンドボックスの数に関する決定は、AlmaとPrimo VEの両方に関連しています。

追加情報

検索の実行時にAlmaのサンドボックスで生産のような結果をシミュレーションするには、プレミアムサンドボックスを持っていないメンバーの所蔵も含め、すべてのメンバーの所蔵が含まれています。

プレミアムAlmaとPrimo VEサンドボックスを受け入れないメンバー機関は、プレビューサンドボックス内でPrimo VE表示をテストすることができます（検索機能やUI変更などのテストで）。プレビューサンドボックスは、機関の生産環境からコピーされたデータを使用します。ただし、設定の変更はプレミアムサンドボックスを取得した後にのみ行うことができます。

共同ネットワーク向けのAlma Sandboxトポロジガイド

ネットワークゾーンの実装	標準サンドボックスの番号	プレミアムサンドボックスの推奨事項
はい	合計3： <ul style="list-style-type: none"> ネットワークゾーンの1つの標準 メンバー機関が共有する2つの標準 	<ul style="list-style-type: none"> 標準のサンドボックスを置き換える3つのプレミアム（ネットワークと2つのメンバー） 追加のプレミアムサンドボックスを購入できます
いいえ	すべての機関で共有される2つの標準	<ul style="list-style-type: none"> 標準サンドボックスを置き換える2つのプレミアム 追加のプレミアムサンドボックスを購入できます

Almaのサンドボックスと生産環境の違い

[Almaのサンドボックス環境の概要](#)で説明したように、Almaのサンドボックス環境と運用環境は完全に分離されており、相互に影響を与えることはできません。サンドボックスは、トレーニングとテストのための安全な環境を提供します。

次の表は、Almaサンドボックス（標準とプレミアムの両方）と運用環境の主な違いを示しています。

Almaのサンドボックスと実稼働環境

Almaの領域	Alma生産	Almaサンドボックス
電子メールサービス	電子メールサービスはデフォルトで有効で、SISおよびその他のソースからAlmaにロードされた実際の電子メールアドレスを使用します	電子メールサービスはデフォルトで無効になっています。リストマッピングテーブルを含める電子メールに電子メールアドレスを入力することで（目的をテストするための）電子メールサービスを有効にすることができます（ 許可されるEメールの設定 を参照）。意図しない電子メールが送信されるのを防ぐために、電子メールサービスはこの方法で処理されます。
Almaアナリティクス	Almaの一部として提供され、Almaユーザーがアクセスできます。Almaアナリティクスは、新しいレポートの作成とテストを配布せずにサポートし、特定のユーザーに制限付きアクセスを提供します。これにより、配布前に新しいレポートをテストできます。	Almaアナリティクスはサンドボックスの一部ではありません。代わりに、新しいレポートを実稼働環境で安全に作成およびテストしてから、実稼働ユーザーに配布できます。アナリティクスAPIは実稼働環境でも使用でき、基本的に読み取り専用です。
ユーザー数	サブスクリプションパラメータに応じて制限	ログインできる有効/個別ユーザーは30人に制限されています。
サードパーティシステムとの統合	すべての統合インターフェースはデフォルトで使用可能で、有効になっています。	<p>Primoに公開するためのFTPは、変更された形式で利用できます（以下を参照）。</p> <p>FTPを含む他の統合はデフォルトで無効になっています。FTPホスト名/IPアドレスをFTP使用リストマッピングテーブルに入力することにより、通信のための特定のFTPアドレスを有効にすることができます（テスト時の許容S/FTP接続の設定参照）。これにより、サードパーティシステムとのFTP関連の統合のテストが可能になります。</p> <p>他のすべての統合インターフェースは、デフォルトで使用可能および有効化されています。</p>
コミュニティゾーン投稿ジョブ	書誌レコードの変更やその他の電子リソースをコミュニティゾーンに提供する機能は、実稼働環境から利用できます。必要に応じて、発行およびその他のジョブを定義できます。	<p>サンドボックスユーザー環境ではコミュニティゾーンを利用できますが、サンドボックス環境からコミュニティゾーンに変更を加えたり、コンテンツを投稿したりすることはできません。</p> <p>サンドボックス環境には、有効化されたコミュニティゾーンコンテンツに対するコミュニティゾーンの更新は含まれません。</p> <p>コミュニティゾーンからコレクションが有効化されると、最新のコンテンツは利用可能になりますが、ジョブが実行されない限りコンテンツは自動更新されません。</p>
ジョブのスケジューリング	使用可能なスケジュールオプションに従ってジョブを自動的にスケジュールする機能。	<p>自動ジョブスケジューリングはサンドボックス環境では使用できません。</p> <p>プロファイルの設定ページで今すぐ実行を選択するか、作業の監視ページ（アドミン > 作業の監視）のスケジュール済みタブでジョブの今すぐ実行を選択することで、必要に応じて手動でジョブを実行できます。</p>
Primoおよび	必要に応じて、Primoへの発行ジョブを定義できます。	Primo — Almaサンドボックスは、選択されたレコードを最大10,000件までPrimoサンドボックス（プレミアムまたはスタンダード）に公開できます

Alma の領 域	Alma生産	Almaサンドボックス
Primo サン ドボ ックス への公 開		Primo VE — Almaサンドボックス内のレコード変更は、Primo VEサンドボックス内で確認できます。
環境 イン フラ ストラ クチャ	<p>Alma実稼働環境は、高度にスケーラブルなインフラストラクチャ上で実行され、インフラストラクチャのすべてのレイヤーで高い利用可否と冗長性機能を使用します。</p> <p>運用インフラストラクチャは、高いパフォーマンス負荷に対応し、拡張できます。</p>	<p>サンドボックス環境は、費用効果の高いテスト環境を提供するスケールダウンされたインフラストラクチャを使用します。</p> <p>サンドボックス環境は、サイジング/強度において実稼働環境と一致せず、レコードのバッチロードまたはAPI呼び出しのパフォーマンスのベンチマーク/時間に使用できません。サンドボックスのAPIしきい値の詳細については、API Governanceのしきい値を参照してください。</p>
Ex Libris クラ ウド 内の デジ タル オブ ジェ クト	<p>実稼働環境には、サブスクリプション契約に従って、Ex Librisクラウドストレージにロードされたデジタルリソースメタデータとすべてのデジタルオブジェクトが含まれます。</p>	<p>サンドボックス環境（プレミアムまたは標準）には、顧客がAlma実稼働環境にロードしたデジタルオブジェクトの複製は含まれていません。プレミアムサンドボックスにはデジタルリソースメタデータが含まれることに注意してください。</p>
ドメ イン 名	<p>Alma — 機関名をプレフィックスとするドメイン名が割り当てられています。例： university.alma.exlibrisgroup.com</p> <p>Primo — 機関名をプレフィックスとするドメイン名が割り当てられています。カスタムドメイン名を使用するオプションもあります</p>	<p>AlmaとPrimoはどちらも同じドメイン名ポリシーを持っています。</p> <p>標準サンドボックスの場合、Ex Librisドメイン名が使用されています。</p> <p>プレミアム サンドボックスの場合は、機関名をプレフィックスとするドメイン名があります。例：university.alma.exlibrisgroup.com</p> <p>カスタムドメイン名はどの製品でもサポートされていません</p>